

令和4年度 全国幹事長連絡協議会

開催される



第26回参議院選挙戦を振り返ってというテーマで、令和4年9月10日・11日、千葉のクロス・ウェーブ船橋にて、全国幹事長連絡協議会が開催された。

神谷政幸参議院議員の挨拶

司会は斉藤企画実行委員長。13時、荻野副会長より神谷選挙へのお礼と、この2日間での総括を次に繋げたいとの開会挨拶があった。

次に、初当選した神谷政幸参議院議員が緑のネクタイを締めマイクの前に立ち、選挙のお礼と国会に登院後の活動について報告された。



負けても終わりではない。やめたら終わりだ。

次に、岩本幹事長による「これでもいいのか選挙結果」という特別講演が行われた。岩本幹事長は「3年後の選挙を見据え、2回目のシンクスをなくすために、走りながら考えて、まず行動を起こそう。政治活動は、楽しんで活動して欲しい。比例代表選挙における自民党の獲得票の75%が党名で個人名は25%であった。名前を書いてもう一つは並大抵のことではない。前回より32,400票落としたが、なんとか当選できた。44都道府県で票を減らしており、その原因を分析しないと次はない。1薬局3名が確実に名前を書いたら勝てる。負けても終わりではない。やめたら終わりだ」と、これまでの経験に基づいての熱い思いを述べられた。



なぜ得票数を減らしたか

パネルディスカッションは鳥海副会長の司会で行われた。テーマは「なぜ得票数を減らしたか」で、熊本県江上氏、東京都小野氏、山梨県堀内氏、兵庫県田中氏、福岡県宮崎氏の5名から発表がなされた。

先ず江上熊本幹事長から取り組みの状況が伝えられた。「紹介者施設数、紹介者名簿数、総支援者名簿数ともに目標を達

成した。毎月、支部ごとの実績管理を行い、目標未達の支部には役員を派遣し薬局訪問を行った。このコロナ禍での補助金の獲得など政治力の必要性を伝えて歩いた。紹介者全員が投票してもらえようにすべきだ」と締めくくった。

次に東京都の小野幹事長から報告があった。「紹介者名簿は目標を達成したが票に繋がらず惨敗だった。女性薬剤師の会東京などでして、若手薬剤師の会東京ワンピース、40歳以上の薬剤師の会東京ネクストを中心に連盟活動の重要性を伝えるためのフォーラムなどイベントをぎりぎりまで行ったが、末端まで浸透していなかった。今後、3年後の参議院選挙に向け分析し、組織強化の浸透を会員に徹底、若い層の底上げを行う」と発言された。

次に山梨県堀内幹事長から報告があった。「山梨県は2016年の本田選挙954票、2019年の本田選挙1,326票、2022年神谷選挙1,645票とこれまでの選挙より得票を伸ばすことができた。名簿収集については地区で競争させるようにした。また、顔の見える電話作戦も良かった。しかし都市部が伸び悩んだこと、病院勤務者や行政職、B会員の協力が今後の課題である」と資料を用いて発表された。

次に兵庫県の田中幹事長から報告があった。「得票数は5,642だった。前回より1,734票減らしてしまった。紹介者数は目標を達成したが、総支援者数は目標を達成できなかった。2段階名簿の説明が周知できなかった。班長会議が早すぎたことなど中だるみがあった」と報告された。

最後に福岡県宮崎幹事長から報告があった。「8,506票の得票の分析とな



得票が取れないのかの分析を行った。獲得票は減ったが医師会候補より減らしていない。善戦したと考えている。今後はSNS等の有効な活用を並行して行う必要がある。紹介者名簿は悪くなかったが本質的な目的を達成するため名簿収集方法については今後の検討が必要である。今回の得票数は本県薬連盟の基礎的得票数と理解し、今後の積み上げに向けた検討をする」と締めくくった。

5名の発表後、質疑応答が行われ、パネルディスカッションを終了した。その後「後援会名簿と得票数」をテーマに、8グループに分かれてスモールグループディスカッション(SGD)が行われた。各都道府県の幹事長から日本薬剤師連盟に事前提出された分析報告書を基に活発な議論が行われ、1日目の会議が終了となった。

2日目は、山本会長の挨拶で始まった。「大変厳しい選挙であったが、先ずは神谷候補の当選のお礼を申し上げる。名前の知られていない選挙だった。コロナ禍の中、隙間を縫った活動をしてきた。組織選挙においては名簿を多く集めることが大切であり、今回の選挙の反省材料である。どうしたらたくさんさんの票を獲得できるのか。これからは選挙にかかわっていく人が若い人になっていくべきだと思う」と述べられた。

山本会長の挨拶



グループA



グループB



グループC



グループD



グループE



グループF



グループG



グループH

本田顕子参議院議員の挨拶



次に来賓挨拶として本田顕子参議院議員が登場した。「3年ぶりの一堂に会した全国幹事長連絡協議会おめでとうございます。先の参議院選挙において2人体制が堅持できたのは、本当に素晴らしい成果です」と挨拶された。また、今回の内閣改造で厚生労働大臣政務官及び内閣府大臣政務官に任命されたと報告があった。

SGDによる選挙結果分析の発表

参加者全員による写真撮影の後、昨日のSGDを踏まえて、各都道府県よりの今回選挙の総括、今後の改善点等について発表された。



2日間の締めくくりに

次に、石井副会長から総括がなされた。

本田顕子参議院議員の挨拶



「3年ぶりに皆さんに会えて本当に良かったです。顔を合わせての議論は有意義であった。今後は若返りが必要だと思う。これからは若い人を中心にSNSを活用しての活動が必要。規制改革会議からの指摘など、薬剤師の存続に対する危機感をもって、薬剤師議員を確実に国会に送ることができるよう活動していくことが大切である」と結ばれた。

最後に川田副幹事長から「平成13年からの選挙における各都道府県の最高得票数は、平成13年が15県、平成19年が19県であったが、今回の選挙では愛知県のみであった。今回、みんなで回ってこの数字、回らなかつたらもっと出なかった。神谷さんは新人であり、今回の選挙の神谷票は基礎票と考える。組織代表議員2人体制を堅持できたことから、次期選挙に向けてこれからは我々が頑張っていかなければならない」と力強く閉会の挨拶がなされ、2日間にわたる会議が終了した。



**次期参議院議員通常選挙における組織内統一候補が
本田顕子参議院議員に決定！**

令和4年度臨時評議員会開催



9月28日(水)、都内貸会議室にて「令和4年度臨時評議員会」が開催された。畑澤常任総務の司会で開会し、山本会長挨拶の後、逢坂誠二衆議院議員、本田顕子参議院議員、神谷政幸参議院議員よりご挨拶をいただいた。

次に上野泰弘仮議長の進行により、会議成立の宣言、議事録署名人の指名、議長として明石文吾参議院議員の選出が行われた。続いて、明石議長の進行により、まず、今回候補者がなかった副議長を来年の定時評議員会において選任したい旨が諮られた。次に、会計担当の荻野副会長が所用のため途中退席することから議案第1号(決算報告)の説

明と監査報告及び質疑応答が行われた。その後、次第に従って石井副会長、岩本幹事長より重要事項の経過報告並びに報告第1号(会務等報告)、議案第2号(次期参議院議員選挙対応)が説明された。質疑応答の後、採決に付され、すべての議案が了承された。休憩の後の協議では、石井副会長から今後の日薬連盟の活動について説明され、次に、議案第2号で次期選挙における候補者に決定された本田顕子参議院議員より決意表明、岩本幹事長より今後の後援会活動について説明され、協議が行われ、最後に鳥海副会長の閉会挨拶で会議が終了した。

**令和4年度
第2回全国会長・幹事長拡大会議
開催される**

令和4年8月10日(水)午後1時30分より第2回全国会長・幹事長拡大会議が馬場常任総務の司会でウェブ開催された。初めに山本会長による「令和4年7月10日の参議院議員選挙で神谷まさゆき日本薬剤師連盟副会長が無事当選することができ、藤井基之参議院議員からのバトンを引き継ぐことができた」との挨拶から始まった。続いて神谷政幸参議院議員から「薬業界のみならず、おかげで当選することができました。今後は国民のため、薬業界のために参議院議員として頑張っていきたい」との挨拶があった。

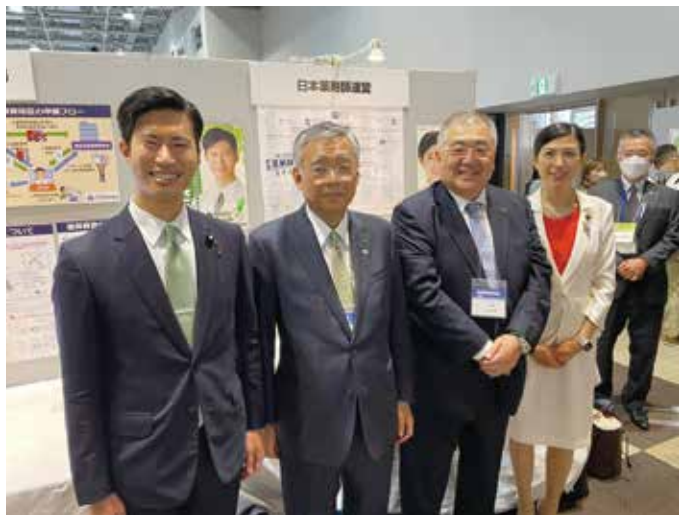
続いてウェブ開催のため山本会長が座長となり、報告事項が担当役員よりなされた。

初めに岩本幹事長から「第26回参議院議員通常選挙総括委員会の設置」と「選挙結果の報告」が行われた。次に大澤副会長から「紹介者名簿及び支援者名簿について」、川田副幹事長から「街宣車活動について」、浜田副幹事長から「標旗ラリーについて」、鳥海副会長から「広報活動について」、石井副会長から「本部における電話作戦」の報告が行われた。その後質疑応答が行われ、最後に荻野副会長の閉会の辞で終了した。



第55回日本薬剤師会学術大会

令和4年10月9日(日)・10日(月・祝)、第55回日本薬剤師会学術大会が仙台国際センターにて開催された。WEBでの視聴も可能であるハイブリッドでの開催であった。2日間で参加者は7,247名、そのうちWEBでの参加者は2,300名であった。日本薬剤師連盟は、展示棟1階の展示会場入り口近くにブースを出展し、1日目は9:00~18:30、2日目は、8:30~12:00、ポスター展示や写真のスライドショー上映、ピラやチラシの設置などを行った。また、2日間にわたり、本田顕子参議院議員、神谷政幸参議院議員がそれぞれブースに立ち、訪れる参加者と挨拶をかわし写真撮影を行った。特に、2人が同時にブースに



並ぶ時間帯は、順番待ちの行列ができるなど大盛況だった。本田議員、神谷議員両名とも、500名を超える参加者に名刺を渡し挨拶をすることができた。訪れた参加者から、多くの応援の声や現場の訴えを聞き、若い薬剤師から、今度、薬剤師連盟の役割や薬剤師議員が何をしているのかを聞きたい、ぜひ来て話をしてほしいという要望も聞かれた。

●令和4年度 日薬連盟ブロック協議会 開催日程

開催日時	ブロック	会 場	開催(幹事)担当都道府県
1月14日(土) 17:00~19:00	北海道	マイステイズプレミア札幌パーク ウェブ参加可	北海道
12月11日(日) 13:30~15:30	東北	ハートピアローフク	青森県
11月12日(土) 13:30~16:30	関東 東京	京王プラザホテル	千葉県 東京都
11月20日(日) 13:30~16:00	北陸信越	JA長野県ビル12階12A室 ウェブ参加可	石川県
11月26日(土) 14:00~16:00	東海	ホテルグランヒルズ静岡	静岡県
12月3日(土) 14:00~16:30	近畿 大阪	奈良県コンベンションセンター 会議室201 ウェブ参加可	兵庫県 大阪府
10月16日(日) 10:00~12:30	中国	ホテルニュータナカ ウェブ参加可	山口県
11月23日(水) 13:00~16:00	四国	高松国際ホテル「栗林」	香川県
11月26日(土) 15:30~17:30	九州	シーガイアコンベンションセンター	宮崎県

オレンジ日記

参議院議員・薬剤師 本田顕子



国会議事堂 ~歴史を刻む政治の舞台~

国会見学できますか？

こうしたお問合せが少しずつ増え、国会議事堂周辺には小中学生の初々しい姿や全国各地からの皆様を拜見する機会も多くなってまいりました。

1920年(大正9年)から16年余りをかけて建てられたドイツ様式の風格ある議事堂は、中央の玄関から向かって左側が衆議院、右側が参議院です。朝日に映える姿、夕日が照らす風景、どちらも素敵です。そして、高さ65メートルの中央塔がライトアップされた時の月夜の晩は心安らぐ癒やしの景色と出会うことができます。

1936年(昭和11年)から使われ始めた議事堂の中央広間には、板垣退助、大隈重信、伊藤博文3氏の銅像のほかに、「政治に完成はない、未完の象徴」という意味が込められていると言われる台座が置かれています。国会議員にとって「いつか自分が」との夢と決意のためでもあるように思います。歴史を感じさせるふかふかの赤絨毯は有名で、それにつまづくようになったら足腰が弱っている証拠だと先輩議員から教えていただきました。

また、議事堂は、医薬分業を法的に義務づけた「医薬分業法」をめぐり、1955年(昭和30年)、施行時期の延期に反対し、医薬分業の推進を求める薬剤師の先生方や薬学生の方々が全国から集結し座り込みを行った場所でもあります。

国会の見学や傍聴はどなたでもできます。私たちの「職場」をぜひ体感なさってください。私たちの事務所でもご案内させていただきます。



●参議院ホームページ 国会体験・見学(見学、傍聴のご案内)
<https://www.sangiin.go.jp/japanese/taiken/bochou/kengaku.html>

政幸だより

参議院議員・薬剤師 神谷政幸



初めての国会質問

10月3日に召集された臨時国会において、厚生労働委員会に所属することができました。厚生労働委員会は10月27日から実質的な審議が始まり、早くも二番手で質問に立つことになりました。この日は、前々日に行われた厚生労働大臣の所信表明演説に対する質疑でした。

まず、加藤大臣に対し、感染拡大防止と経済活動の両立を図る方針の下における今後の新型コロナウイルス感染対策について考えをお聞きしました。続いて、次の事項について担当局長に質問して答弁をいただきました。

- 革新的医薬品の開発促進に向けた環境整備の具体的内容について
- 医薬品、特に後発医薬品の安定供給を確保するための対策について
- 第8次医療計画の策定に向けた医薬品提供と薬剤師確保に関する検討状況について
- マイナンバーカードと保険証の一体化に向けての検討状況について
- 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を想定した医薬品提供体制及び自己検査のできる検査体制の強化に向けての取り組み状況について

最後に、予防・重症化予防・健康づくりについて質問を予定していましたが、一番手の議員が同様の質問をされましたので、私からは健康サポート薬局について言及しつつ、薬局や薬剤師も地域住民の健康増進に取り組んでいることを紹介させていただきました。

当日の審議の状況は、参議院のHP→「参議院審議中継」をクリック→カレンダーで開会日(10月27日)を選択→厚生労働委員会をクリック→委員会の動画によりご覧いただくことができます。動画下の発言者一覧より神谷政幸をクリックしてください。

初めての国会質問で緊張しましたが、何とか責務を果たすことができました。



▲10月27日
参議院厚生労働委員会



編集後記

メンテナンスを楽しむ

コロナ禍を経て、アウトドア、特にキャンプが流行している。最近ではなかなか行くことができていないが、斯く言う私の趣味もキャンプである(もっぱら一人でバイクで行くソロキャンプではあるが)。

私のキャンプ道具は古くシンプルなものばかり。一番古い道具は100年以上前のスクーターズランタンという小型のランタン。夕刻に凍った湖でスケートするために作られたランタンである。他の道具は、前回のキャンプブーム(パブル期)の頃の道具ばかり。ガソリンランタンやガソリンストーブ(バーナー)はきちっとメンテナンスしないと、軽く炎上したりする。面倒であるがそれが楽しみでもある。

さて、医療においては、オンライン資格確認や電子処方箋の開始とともに医療DXが急速に進みはじめている。多くの情報を医療従事者が共有することにより、確実に医療の質は上がっていくと思われる。合わせて、検査値や疾患名をはじめとする各種情報を把握した上で薬剤師として適切な判断を行うには自身のアップデートも必要である。スマホのバージョンアップのようにポタン一つでというわけにはいかないため、薬剤師としてのメンテナンスも楽しみながらやっていこうと思っている。

(T・H)



POWER9月号訂正
〔4画〕出席した薬剤師首長・地方議員紹介
誤・成田市議会議員 葛生 孝治
正・成田市議会議員 葛生 孝浩
訂正しお詫び申し上げます。